

V 特記事項

V. 特記事項

1. カレッジ・アドバイザーによる学生に寄り添う支援

八戸学院大学（以下、本学）では、全教員がカレッジ・アドバイザーとして学生の学修支援とキャリア支援を行い、学生に寄り添ったきめ細かな指導を展開している。「基礎演習」、「プレゼンテーション」、「研究演習」などの少人数教育を通じて、学生が気軽にカレッジ・アドバイザーなどに相談することができる環境を整えている。

学生の学修、出席状況、生活状況や休学者および留年者への対応などについては、毎月開催される学科ごとのカレッジ・アドバイザー会議や実習会議（教育実習、看護臨地実習など）において、情報共有を図るとともに、学務部の各担当職員との連携を密にしている。

2. 地域を学びのキャンパスとした実学の推進

本学の教育理念に基づき、地方文化や地域経済に密着した「地域を学びのキャンパス」とする教育を施すとともに、教育・研究・社会貢献活動が一体となったプログラムを展開している。

産官学の連携による実践的フィールドワークとして、地域経営学部では、「八戸都市圏交流プラザ『8base』を活用した国内外新規販路開拓・拡大プロジェクト」、「ミネフジツボの養殖化」等に関わる教育・研究プログラムが挙げられる。これらの活動をとおして、学生に地域活性化のビジョンや方策について考える機会を提供している。

健康医療学部では、地域に根ざした代表的な教育・研究・社会貢献活動として、地域住民を対象とした公開講座と健康調査・研究が挙げられる。公開講座は、地域住民に対して健康に関する学習機会を提供し、健康意識の向上を図ることを目的とし、学生中心の健康調査・研究では、地域住民の健康増進、特に健康寿命の延伸に寄与することを目的として行っている。

このように地域社会と連携した実学型の教育・研究・社会貢献活動は、学生の実践力を高め、地域が抱える問題を解決する能力を培うとともに、本学の教育理念である地域社会の経済・文化の発展に寄与できる人材の輩出へ向けての基盤となっている。

3. 学生の夢を実現に導く学修・キャリア支援体制

本学では、現代社会が求めるニーズを的確に捉え、それぞれの専門的分野において自己の社会的役割を認識し、地域社会の発展に寄与することができる人材を育成するため、職業イメージや資格・免許の取得を念頭においたコース・プログラム制などを導入している。また、これらコース・プログラム制などに基づき、学生の主体的な学修を促し、専門知識と技術が体系的に修得できるように、順序性を明確にした科目配置を行っている。

過去5年の就職内定率は高水準で推移しており、その背景として、学生に対する、入学から卒業までの一貫した日常的かつ専門的なキャリア支援と八戸学院大学就職支援委員会、カレッジ・アドバイザーおよびキャリア支援課の連携を密にした就職相談、進路相談・助言の成果が挙げられる。